

2008年  
5月

# きたてしま 創刊号

発行者：川口和則会長 連絡先：762-2865（川口宅）

## 北小校区を住みよい街に

### なぜ今、地域分権なのか

### 阪大の齊藤 講演会・グループ討論を開催 準教授招き

「北豊島地域コミュニティ推進協議会」は3月30日、池田市立青年の家で総会を開催するとともに、大阪大学大学院人間科学研究科の齊藤弥生准教授を招き、講演会とワークショップ（グループ討論）を行いました。

総会では、私たち協議会が提案した「豊島東公園へのバスケットコート設置」「旧北豊島公民館の改修」「広報紙の発行」「防災犯備品の充実」「花いっぱい運動の実施」などの事業が、市議会で承認されたことが正式に発表されました。

講演会では、齊藤准教授が、市民の意見が届く地域分権の意義、身の回りの問題を解決していく「近所の底力」の大切さなどを強調。スウェーデンの福祉・教育の取

り組みや島根県松江市のユニークな公民館活動などを紹介し、「住民の発想が街づくりに反映され、税金の使い途が市民からよく見えることが大切」「こういう討論会に参加できない人にも、広く情報を知らせることも大事」などと語られました。

討論では、校区内の課題や将来像、協議会の運営のあり方などをめぐり、活発な議論が交わされ、「校区内の年齢層別人口を調べ、北豊島福祉村をつくるにはどうか」「街全体であいさつ運動を実行しては」など、新たな提案が出され、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

グループ別の討論会では、将来を展望した地域コミュニティのあり方などをめぐり、活発な意見が出ました。



齊藤 弥生准教授



### 講演会やワークショップの参加者アンケートの声から

- 改めて気付いたことや確認できたことも多く、今後すべきことがイメージできた。
- みんなが真剣に協議する姿に感動しました。これからも模索しながら進みたい。
- 齊藤先生の話し方やまとめ方が分かりやすく、非常に良かった。先生の笑顔に2つのエクボがあり、ステキでした。
- どうすればコミュニティ協議会に多くの老若男女を巻き込み、積極的に楽しく運営していけるかを考える場になりました。
- 紹介されたスウェーデンや松江市の活動がとても新鮮でした。公民館を中心として、地域の課題を解決する取り組みやイベントをどんどん展開していきたい。

# 今夏バスケットコート完成

— 豊島東公園でスリーオンスリーが楽しめます —



中学生の子どもを持つお母さんが提案してくれたスリーオンスリーバスケットコート。通常のバスケの半分の広さでプレーできるもので、少人数でも手軽に楽しめる人気スポーツです。設置場所は、伝承地「弁慶の泉」近くの高架道路下にある豊島東公園内で、夜間照明灯も整備します。着工が間近に迫っており、順調にいけば、夏休み前には完成する見込みです。皆さん、子どもから大人まで、いっしょに楽しみましょう！

## ユニークなアイデアや参加希望者を募集しています

各種カルチャー  
スクール開設 **美術展やコンサートも**  
旧北豊島公民館を改修し拠点に

私たちは今後、地域の比較的中心部に位置する旧北豊島公民館を改修し、住民相互の交流や親睦を深める拠点として有効活用を図る予定です。

具体的には、各種カルチャースクールの開設、ミニコンサートや美術展の開催、コミュニティ文庫の創設、おしゃべりティータイムサロンの開催、子育て・高齢者サービスの提供、囲碁・将棋サロンの開設などを考えています。

こうした活動に主体的に参加したいという方や、このほかにも、「自分はこの活動がしたい」というユニークな発想や情熱を持っている方がおられましたら、ぜひ、ご連絡ください。

〔広告を掲載しませんか〕

本紙では次回7月号から、商売や会社を経営されている方などを対象に、広告を掲載したいと考えています▼広告の大きさはタテ3cm、ヨコ8cmの長方形。この枠内で作製した広告案を持ち込んでいただく方式にします。掲載料は1枠5000円です▼掲載希望者は5月20日までに、ご連絡ください。

### 北豊島地域コミュニティ推進協議会の新メンバー紹介

- 荘園：川口里美
- 天神：松本政弘、太田覚、三辻通代、永井万済美
- 豊島北：古賀徳彦、岩井志乃、藤田巳智子、北川あみ、藤井芳栄、明石建作、富雅昭、橋川和男、粟井仁之
- 豊島南：木田治

メンバーは随時、募集していますので、ご連絡ください。  
興味のある方は、川口会長宅（762-2865）まで。